



「フツ」と一息 目指せ高得点



第9回スポーツ吹矢北海道大会が町総合体育館で開催されました。北海道大会が当別町で開催されるのは3年連続で、札幌や小樽、遠くは別海町など、道内21支部から約200人が参加し得点を競い合いました。同競技は腹式呼吸を基本とし、健康効果も期待できるため、性別・年齢を問わず楽しめるスポーツとして愛好者も増えています。 (9月3日)

次は道の駅でお買い上げ！



秋晴れの中、「とうべつ軽トラマーケット」が札幌市北区あいの里の北海道医療大学駐車場で初めて開催されました。これまでの厚別区開催で、お馴染みの人参詰め放題では、トラックの周りに沢山の人がだかりができ、少しでも多く詰めようと、ビニール袋を伸ばしたり、詰め方を工夫するなどのお客さんも見られました。当別の魅力の一つである新鮮な野菜や花がPRでき、あいの里から一番近い道の駅「北欧の風 道の駅とうべつ」に多くの方が足を運んでくれるきっかけづくりとなりました。 (9月10日)

心温まる振る舞いそば



「そば処 福住」のオーナー鶴野信幸さんが、敬老の日にちなんで一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦12人を店舗に招待し、天ぷらそばを振る舞いました。鶴野さんの奉仕活動は15年以上も続いています。招待された方は、「外食することが少ないので、話をいただいてから今日の日を楽しみにしていた」「こんな天気の良い日に大勢で食事ができて、ちょっとしたお出かけ気分」との声がありました。また、友人との久しぶりの再会に喜ぶ様子も見られるなど、心温まる食事会となりました。 (9月20日)



連携で地場産品の魅力発信！



JA 北いしかりと株式会社オンサイトが計画する農商工連携事業が北海道経済産業局および北海道農政事務所に認定されました。株式会社オンサイトは、北海道のイタリアンをけん引する堀川秀樹シェフが代表を務め、道産の農水産物の販売や加工を事業としています。認定式は「北欧の風 道の駅とうべつ」内にある堀川シェフのお店「カフェ テルツィーナ当別店」でスイーツの試食会も兼ねて行われました。この連携により、当別産農産物のおいしさや新鮮さといった魅力を今まで以上に発信できるようになります。 (9月21日)

仲間と走るさわやか駅伝



「第9回さわやか駅伝」が日差しが照りつける秋空の下で開催され、今年は66チームが参加しました。小学生からシニアまでの7部門のうち1番速いタイムを出したのは、中学生男子の部「ロリパラ（当別中）」で24分48秒。一人約1.5kmをチーム5人でたすきリレーをするこの駅伝は、仮装を楽しみながら走る姿も多くみられ、志村けんのバカ殿と白鳥のコスチュームを身にまとったもの、お笑い芸人の「サンシャイン池崎」のマネをしながら走るなど、観客の目を楽しませてくれました。

(9月24日)



広告

広告

広告

広告